

すがも通信 24

いつまでも。

我々が

安心して

棲める

日本であって

欲しい……オオタカ。

今、日本の野鳥を
救う時。



(Accipiter gentilis)

1984.2.10. HK.

WBSJ. KARUIZAWA.

おぼる月夜

菜の花畑に

入り陽うすれ

みわたす山の端

かすみ深し

春風そよ吹く

空を見れば

夕月かかりて

においあわし



「バードウィークに上せて」

今年も 愛鳥週間「バードウィーク」が 5月10日～16日に各地で いろいろな行事が行なわれ 愛鳥の心が多くの人達により広がってゆくと思われまふ。

行徳野鳥観察会でも 特別の行事を予定していますので 期間中ぜひ観察会へおいでください。

自然は日ごとに失なわれつつありますが 野鳥を観察する人(バードウォッチャー)は徐々に増えていますけれども 欧米に比べるとまだまだ少ないのです。 皆さんも友達をさそって観察会の行事等にご参加ください もっと鳥を見 自然を愛する仲間を増していこうではありませんか。

今 公共のためといいながら 海や山がいまだに破壊されつつあります。 特に 湿地 干潟等の水辺の開発はものすごく サギやシギなどの水辺の鳥は激減しています。 オキナワ 西表 漫湖(マン湖) セトナイカイ 小田ヶ浜 オオサカワン 大阪新空港 イセワン センダイワン トウキョウワン フウレン湖等 今また水辺や浅海が開発の名のもとに埋立てられようとしています。

東京湾においても 羽田沖の干潟が埋立てられ(一期) その沖の浅海(二期350ha)がまた埋立てられようとしています。 横須賀の安浦の浅海(60ha)も埋立てら

れようとしています。 そして 市川沖の浅海(水深1m以内 700ha)を千葉県は埋立てようとしています。

この場所は5万羽にもなるスズガモの餌場や休息地であり カレイやハゼ 貝類が育つ場所であり 潮干狩場としても多くの 人々に親しまれ そしてノリの好漁場でもある貴重な場所です。

ここも 下水道処理場や公園 再開発用地等の公共の名のもとに埋めつくされようとしています。 本当に700haもの吊りが必要なのでしょうか?(羽田でも安浦でも必要以上に埋立てられようとしています)

目先のことにとらわれず 100年先のことを十分に考えて海をみつめてみましょう 追いつめられた水鳥達を目で海をみつめてみましょう。

愛鳥とは 野鳥を含めた野生動物達のための環境を守ることではないでしょうか。 会員の皆さんも 真に野鳥達の(口のきけない生き物達の)立場で 行政等に訴えかけてください。

皆さんのご協力をお願いします。

なお ケンボジウム 市川沖の埋立てを考えるが 4月22日(日) 午後1時30分より 行徳公民館2階会議室で行なわれますので ふるってご参下さい (田久保 晴孝)



一鳥のむかしむかし一

○すずめとつばめ

むかし すずめとつばめは姉妹であったそう。 ある日二人がお化粧をしている時 母親が死にそうだという知らせが来た。

すずめはお歯黒をつけた口まわりを黒くしたままかけつけた。

つばめは「なんぼなんでも お化粧やりかけでは」と きれいに化粧をすませてからでかけたので 母親は死んでしまっていた。 それを見ていた神さまは「すずめ

は親おもいだから 米をたべてよい。 つばめは 親より化粧が大事のようだから きれいな着物を着ておれ そのかわり 土や虫をたべているがよい」とおっしゃいました。 それから つばめはきれいな着物を着て飛びまわりながら「すずめはいいなおらたち 土食うて虫食うて くちしぶーい 土食うて虫食うてしぶーい」と鳴いているのだそう。 (東北地方 民話)

一新浜自然観察会 感想文一

1月8日の会では いろいろとお世話になりありがとうございました。(ホントニ遅い感想文になってしまい申し訳ありません) 冬の探鳥会は さぞ寒いものと 恐る恐るの参加でしたが 思いもよらず暖かい一日に恵まれ ほんとうでした。

あんまり多くの水鳥達の大群を 未だ鳥について知識のない私は「観察する」というよりは「ただボカンとして眺めていた」だけで なさけないことです。

でも新浜の呼びものという セイタカンギのあざやかな朱い脚を心ゆくまで見られて満足できた会でした。

臼井 康子

一ご紹介しします一

鳥3

○コアジサシ

四月半ば 吹く風がほんの少し初夏の蒸りを運ぶようになると 南の国から彼等はやってきます。 漢字では「小戟刺」と書きます。「戟」というのは広い意味で小魚のことを指すのではないのでしょうか。 アジの仲間には日本に70種近くもいるそうですから。

空中で停空飛翔をして 海を突刺すように魚を捕える そんな生態から名付けられたのでしょうか。 英名は「Little Tern」。 Ternは「アジサシ」という意味の他に「三端い」という意味もあります。 これはアジサシ類の多くに使われていますが 彼等のスマートな 背広姿? に由来しているのかもしれない。 学名は「Sterna albi frons」。 属名のSternaはアングロサクソン語のstearn(アジサシ)に由来しています。 種小名のalbifronsはラテン語のalbi(白い)とfrons(額)の複合語です。 つまり「白い額をしたアジサシ」という訳ですね。

○ヒバリ
芽吹き始めた緑と柔らかな青空を背景に 輝やきを受けてさえずるヒバリ。 ヒバリは春を代表する鳥の一つです。 漢字では「雲雀 告天子」と書きます。雲の雀 天に告

2月12日新浜探鳥会に 私は息子と参加させていただきました。 小雪が舞う寒い日であったが はす田 湿地で 又江戸川河畔で動きまわる セイタカンギ ハマシギ等の姿はまるで タップダンスを見ているようで 私達にとって何ともうれしい歓迎の様子といえよう……

頭に冠羽をつけたタゲリを始め 春の到来を告げようと鳴いていたウグイス等 数多くの野鳥に逢え 彼等の種々の場所である自然をいつまでも残したいものと感じた一日でした。 まとまりのない感想文となりましたが 何卒よろしくお願い致します。

時節柄ご健康に留意のうえ ご活躍になりますよう 祈念いたしております。

敬具
角 光夫

げる小さな者 どちらも彼の空高くさえずる姿からきたものでしょう。 英名は「Sky Lark」。 これは この鳥が某レストランの近くに多く生息するため……ではありません。 Larkとは「浮かれる」という意味で さしづめ「空の浮かれ者」といったところでしょうか。 学名は「Alauda arvensis」。 属名のAlaudaはケルト語で「偉大な歌姫」という意味です。 種小名のarvensisは名詞arvum(畑)に接尾辞の-ensis(〜に属する)を付けて形容詞化したもので (畑に産する)という意味です。 「畑の偉大な歌姫」 これもさえずる時の姿から名付けられたのでしょうか。

ヒバリは古くから飼鳥としても親しまれたの高いヒバリのかごとの中で 舞い上り 野外と同じように鳴かせて 声の美しさ 長さ 舞い上る高さ 滞空時間を競い合う遊びもありました。 しかし 名前のとおりヒバリは かごの中よりは広大な空高く さえずるほうが よく似合いますね。

荒井 八太

参考資料

「鳥の学名」

内田 清一郎著

ニューサイエンス社

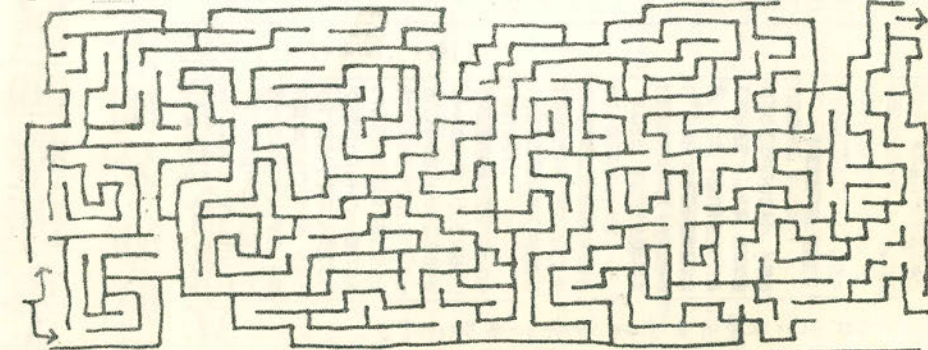
「野鳥の辞典」

清庵 幸保著

東京堂出版

一鳥の国から 観察舎便りー
 ○スズガモの群は 1月24日からこっ
 ち 一度も入らないまま とうとう渡去の
 時期を迎えてしまいました。 他のカモま
 で例年より少なく それに比例してお客さ
 んまで少ない! さみしいなあ もう……
 ○2月10日頃から餌にこなくなり 20
 日頃からほとんど餌場に姿を見せなくな
 っていたセグロカモメ どうやら漁業組合の
 新しい潮干狩り場にお邪魔していたよう
 です。 潮干狩り場がオープンした 3月15日
 になって (すずごと?) 戻ってきました
 が まだ餌付けが悪いのです どうなるの
 でしょうか。
 ○セイタカシギ入院
 2月26日(日)の みぞれまじりの雨の
 で 餌場に来ていたセイタカシギ成鳥が
 しょんぼりふるえているのが見つかり 友
 の会の百瀬さんが手取りで保護。 水路の
 どぶ泥ですっかり汚れ 羽毛の保温ができ
 なくなったようです 一日6匹のワカサギ
 をむりやり飲まされ ミルウォームやパン
 をつまんで いくらか体重もふえ 羽もき
 れいになったところで 3月11日(日)
 に放鳥しました。 でも14日の雪以来見
 られていません どうしているかしら。
 ○舞浜から入院したトビを放鳥しました。
 ちょっとまだ寒いとは思ったのですが12
 日に 同じ小屋のユリカモメをバラバラに
 して食べてしまい 13日にもう一羽とり
 おさえて 食べようとしているところを
 やっと追い払ったのです。 ミルプス君と

○またか! と お思いでしょうが スペースが余ってしまったので……



は対称的に さっさとどこかに姿を消して
 しまいました。
 ○新潟では
 3月16日 新潟県自然保護課の本間隆平
 先生が来所され 色々お話をうかがいまし
 た。 白鳥が何と県内で130羽も餓死し
 たそうです(凍結のため)。 大半がコハ
 クチョウの幼鳥で 保護され回復に向っ
 ているものも50羽近くいるとのこと。
 例年 白鳥が死ぬのはこれから(3月末～
 4月)が多いはずなので 先が思いやられる
 と心配されておられました。
 昨年は県内に渡来した3600羽のうち死
 んだのは 数えるほど 今年は4200羽
 のうちもう200羽近く。 やはり 今年
 の冬の寒さはこたえる!
 トキのミドリ(雄)とキンちゃん(交尾
 しているそうですが この数日お互いに
 冷淡なので 不安とのことでした。 もう
 17歳で大年増のキンちゃん 1個でも2
 個でも卵をうんでくれるといいのですが。
 ○3月11日 新潟自然観察会でツルシギ
 が1羽 妙典で見られたそうです。
 今年は春のくるのが遅い遅いと いわれて
 いますが 鳥の世界ではしっかりと春が歩
 みを進めているようです。
 3月16日 蓮尾 純子
 ※3月22日午後 観察舎前の水路に
 ツルシギ(冬羽)が二羽姿を見せました。
 (編集部)

2月の鳥の記録 (1984)

種 名	観察日数	最高数	最高数記録日、場所等
カイツブリ	10	8	3/2
カワウ	15	80	3/16
ゴイサギ	22	34	
ダイサギ	5	2	
ユサギ	12	11	3/1 () は放鳥個体
アオサギ	25	34	3/9
マガモ	10	23	3/9
カルガモ	25	223	3/2
コガモ	25	159	3/19 カモガモ池 (3/9)
トモエガモ	5	4	3/2, 3/1 (3/9), 3/13 (3/2)
ヨシガモ	4	2	
オカヨシガモ	5	3	
ヒドリガモ	23	1000	3/2, 3/15 (3/2)
アメリカヒドリ	2	1	
オナガガモ	19	37	
ハシビロガモ	18	9	
ホシハジロ	2	3	
キンフクロハジロ	2	450	3/5 下北岸で
スズガモ	9	2-3000	3/6, 1000以上を要(3/2)
トビ	8	8	3/9 () は放鳥個体
ノスリ	5	1	
キウビ	19	3	
ハヤブサ	2	1	
チョウゲンボウ	3	1	
キジ	1	7	本まで950, 3/2 (3/9)
バン	24	11	3/2, 水路の餌場
オオバン	1	2	シンジ池
シロチドリ	19	5	3/2
ダイセン	21	4	
タゲリ	1	4	3/2 カモ池より直方
ハマシギ	21	90	3/9
インシギ	3	1	
タシギ	1	1	3/2 上空
セイタカシギ	15	2	1羽餌場に餌付け 3/2 (無コ)
ユリカモメ	21	23	3/9
セグロカモメ	22	83	3/9
オセグロカモメ	7	1	
カモメ	5	5	3/2
ウミネコ	11	1	
ドバト	21	22	
キジバト	11		
カワセミ	1	1	餌場、水路で見

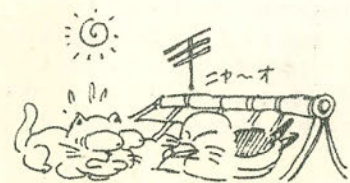
種 名	観察日数	最高数	最高数記録日、場所等
ヒバリ	3	1	
ハフセキレイ	19	1	
タヒバリ	1	1	
ヒヨドリ	9	2	
モズ	1	2	
ジョウビタキ	4	2	水路、カモ池、田舎、カモ池
シロハラ	1	1	3/25 田舎、カモ池 (3/9)
ツグミ	10	1	
ウグイス	5	1	
セッカ	1	1	北岸 1羽 (3/9)
シジュウカラ	4	3	
メジロ	1	1	カモ池
ホオジロ	1	2	
カミラダカ	1	2	
アオジ	7	3	
オオジュリン	7	2	
カワラヒワ	2	1	カモ池、カモ池
シメ	1	1	
スズメ	20	1	
ムクドリ	3	1	
オナガ	1	1	
ハシボソガラス	7	1	不明カラス、3日
ハシナソガラス	3	1	

計 65 種

以下は未確認

ハジロカイツブリ	1	1	3/2
オオタカ	1	1	3/2 上野、カモ池 (3/9)
ヤマシギ	1	1	3/2 上野、カモ池 (3/9)

※この記録は観察舎の3の観察原則とし、それ以外で
 記録された日は、+00日で示した。
 ・草地、林の鳥に関しては、数の記録はとっていない。
 ・4月 国の休館日の観察はしていないが、極く一部
 のみである。



行事案内

誰でも自由に参加できます。

○新浜自然観察会

4月8日 5月13日 6月10日

集合：東西線行徳駅前 午前10時

解散：野鳥観察舎午後2時半頃

わずかに残されている 妙典地区の湿地や保護区で カモ サギ カモメ バンなどの水鳥を中心に動植物の観察をします。

(午前中は江戸川放水路妙典の観察をして 午後は保護区の中に入れていただく予定)

参加費： (小中学生は無料)

お弁当 水筒 雨具 ボウシをお忘れなく

○定例 園内自然観察会 (観察舎主催)

4月1日 15日 5月6日 5月20日

集合：野鳥観察舎前午後1時半

解散：〃 〃 午後4時頃

園内の観察路を 約3.5Km歩きます。 歩きやすい服装 はきものでどうぞ。

〔バードウィーク特別行事〕

5月12日(土)午後～13日(日)

千葉県自然保護課主催の特別行事が 野鳥観察舎で行われる予定です。

例年は 映画会 園内観察会が行なわれる他 当日子供達に来館記念のバッジ他が配布される予定です(場合によっては大人にも……)

ーシンポジウム市川沖埋立を考えるー

4月22日(日)午後1時30分～

於行徳公民館 2階会議室

講師

美濃部亮吉氏(前東京都知事)予定

風呂田利夫氏(東邦大学)

田久保晴孝氏(千葉の干潟を守る会)

行徳漁業組合代表 予定

昨年 塩浜沖の大規模な埋立計画が発表され、鳥の餌場や潮干狩の場所がなくなってしまおうと 心配されています。

この埋立工事は 私達にとってどのような意味を持つものでしょうか 海の浄化や環境保護の面から 埋立を考えて見ようというシンポジウムです。

お気軽にご参加ください。

(主催 シンポジウム実行委員会)

5月20日(日)には 船に乗って 現地の海を観察する会が予定されています。

詳細については 田久保晴孝()までお問い合わせ下さい。



ー事務局よりー

今年度の会費を 納めて下さい。 一般会員1000円 賛助会員2000円以上 ジュニア会員(小中高生)500円です。 観察舎でお金をあずかってもらえます。 その他 絵はがき シール 鳥のマスコット 鳥の図鑑なども販売しています。

ー編集後(流)記ー 江戸川放水路には 今日(3/29)も、セイタカシギが10羽ほどいました。4つがいほどいます。今年もたくさんの子が育つといいですね。それにしてもササギの埋立てが 気になります。(はるたか) 詩やカットまでお送り下さい。

○先号の表紙ではありませんが 春よこい 早くこいの心境でした。 でもようやく……(途)

すずがも通信

なんばあ 24

1984年4月1日発行

振替仙台2-6129

年会費1000円

発行人 亀谷 栄

事務局 鈴木 有孝

編集人 田久保 晴孝

新妻 途夫

行徳野鳥観察舎

〒272-01 市川市栄4-22-1 TEL 0473(97)9046